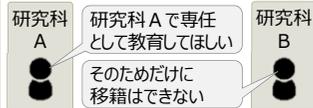


北海道大学の教育組織改革イメージ～学院・研究院化の完成～

① 研究科の課題

研究科は研究組織と教育組織が一体であり、新たな教育のためには教員組織再編が必要だった。



② 学院・研究院とは

教育と研究の目的は必ずしも一致しないため、学教法100条に基づきH17から段階的に、各研究科を学院 & 研究院 に分離

学院 大学院生が所属。教育目的に応じて編制

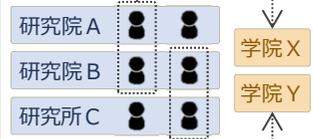
研究院 教員が所属。研究目的に応じつつ、教育上の必要性を考慮

学教法100条 (略) 教育研究上の目的を達成するため有益かつ適切である場合においては (略) **研究科以外の教育研究上の基本となる組織を置くことができる。**

③ 学院・研究院の効果

適切な資源配分 学院での教育は複数の研究院/附置等の教員が担当できるため、研究領域に縛られることなく教育資源を再配分可能

機動性 社会が要請する新たな教育の実施にあたり、教員組織再編を伴わずに機動的に教育組織を設置可能



北海道大学近未来戦略150 (抄)

専門的知識に裏づけられた総合的判断力と高い識見、並びに異文化理解能力と国際的コミュニケーション能力を有し、国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成する。

分野横断型 国際大学院の新設

学院・研究院の拡充による教育複線化

